

第6学年3組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成23年6月8日(水)13時35分～ 6年3組教室

2. 題材名 「協力名人になろう」(望ましい人間関係の育成)

3. 題材について

男子15人、女子14人、計29名の学級である。本クラスの子どもたちと出会い、2か月が過ぎた。クラスの様子を見てみると、一人一人が学校生活を楽しんでいるように感じる。授業中には、発問に対してつぶやいたり、友達の考えに共感したり、素直な反応をする子どもたちが多い。休み時間には、校庭で鬼ごっこをして、集団で自由に遊ぶ姿も見られるが、一人で過ごしている子も見られる。また、掃除時間や学習の中のグループ活動においては、自分の意思を貫いて行動している子どもたちも見られる。本クラスの子どもたちには、相手のよさを認め、高め合える集団になってほしい。また、集団活動による体験を積み重ねることで、他者を理解し、認め合う機会が必要と考える。

学校という集団の中で学ぶものの中に、「楽しかったな」「嬉しかったな」と友達と感動を分かち合うことができるなど、「集団で活動することのよさ」があると考え。集団の一員として、自分がどのような姿であるべきか学ぶ経験を設け、仲間と協力するよさを感じ取ってほしいと思い、本題材を設定した。仲間と協力し、課題を達成するという具体的な活動を通して、各々がどう感じたかを学習の成果となることを願っている。そして、協力して活動したことの喜びを今後の集団活動に生かしてほしい。

本題材では、かわさき共生*共育プログラムのエクササイズ「色鉛筆を忘れちゃった」を活用し、今後の生活の中で「協力して活動すること」の本質を考えていけるようにしたい。学級活動(2)内容ウの「望ましい人間関係の育成」の問題解決の手立ての材料になるように活用する。指導の中で、学習カードを用いる際は、課題に対して、より具体的に思考を深めるために、児童の意識を高めるための資料、ねらいを焦点化するための資料として、自ら作成したワークシートを活用する。

4. テーマとのかかわり

高学年部会では、「お互いの良さを認め合い、自分の考えや行動を広げよう」というテーマを掲げている。その中で、育てたい子どもの姿として、自分たちで友達との日常生活を解決できる子を目指している。学級活動の時間では、子どもたちがより自主的・実践的に学んでいけるように、支援を心がけている。お互いの良さを認め合うことで、居心地の良い学校生活をおくっていくことを願っている。また、日常生活に目を向け、学級で起きている諸問題について考えを深め、改善していける活動を多く取り入れていく。

5. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、自主的に日常生活や学習に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

- ・児童の実態を知るアンケート調査

(班活動で困ったことはありませんか？)

(困ったことの内容)

活動の場	活動内容	評価()と支援()	資料
朝の活動	・アンケートに答える。	アンケートに答え、自分の生活を振り返っている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) 場面を想起する投げかけをする。	アンケート用紙 (児童の意識を高めるための資料)

(2) 本時の活動

ねらい

- ・班活動をすることにより、自分の行動を見つめ、日常生活のめあてをもつ。

授業の視点

- ・アンケート結果を見て学級の問題として意識を持ち、班活動をすることで具体的なめあてを考えるか。

活動計画

	児童の活動	評価()と支援()	資料
導入	1、本時のねらいを知る。 ・アンケートの結果から、班活動の時に困ったことはなかったかをとりあげる。 ・なぜ困ったのかをとりあげ、クラスとしての問題であることに気付く。 ・一人ひとりがどうしていきべきかを考えることを説明する。 ・めあてを掲示し、班での活動を通して、「協力名人」を目指すことを話す。	アンケートの結果に意識と関心をもっている。(集団活動や生活への関心・意欲・態度) 学級の実態に気付き、感じたことを発表しようとしている。(集団活動や生活への関心・意欲・態度) 「協力名人」になれるように声かけをする。	アンケート結果 (ねらいを焦点化するための資料) 本時のめあて (掲示用)
展開	2、エクササイズを行う。 ・「かわさき共生*共育プログラム」『色鉛筆を忘れちゃった』の説明をする。	エクササイズのルールを掲示する。	かわさき共生*共育プログラム 『色鉛筆を忘れちゃった』参照

	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての確認をする。 ・ルールを説明する。 <p>3、エクササイズをした結果を練り合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各班ごとのエクササイズの結果を黒板に掲示し、見合う。 ・見合った中で、他の班との出来栄の違いを感じる。 ・どのように活動できたか振り返る。 ・良かったことは何か。 	<p>めあての確認では、後の投げかけを予告しておく。</p> <p>ねらいからそれない声かけをする。</p> <p>協力して活動をするために、自分ができることを考えている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>色塗りが上手にできた班には、進め方を聞く。</p> <p>伝え方・聞き方に工夫がある班をとりあげる。</p> <p>気配りに工夫がある班をとりあげる。</p> <p>自分たちの班での取り組みを発表している。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>どのように気をつけて活動したか具体的に聞き、板書をする。</p>	
終末	4、本時を振り返り、これからの学校生活の中で、友達やクラスメイトと接するとき心がけることをワークシートに書く。	本時を振り返り、どのようにするとよりよい集団での活動につながっていくのかを確認する。	ワークシート (実践への意欲付け資料)

(3) 事後の活動

- ・本時の活動を生かし、集団活動で、協力して取り組む活動を設定する。
- ・清掃活動、当番活動においても実践していく。

活動の場	活動内容	評価 () と支援 ()	資料
朝の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・係活動の時間に日常の活動の打ち合わせ、作業に取り組む。 	<p>自分で立てためあてをもとに係活動に取り組んでいる。</p> <p>(集団活動や生活についての知識・理解)</p>	
清掃活動 給食当番	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の清掃を一生懸命取り組む。 ・人数が少ない仕事を手伝う。 ・班や当番の人と声を掛け合って、仕事に取り組む。 		
授業中の 班活動	<ul style="list-style-type: none"> ・班の人と声を掛け合って、課題に取り組む。 ・困っている人に声を掛ける。 		

